

あすなる会の活動報告

大中祭(文化)での舞台発表

10月3日(木)・4日(金)にかけて、大正中学校では大中祭(いわゆる文化祭と体育大会)が行われました。大中祭の文化の部で、あすなる会の1～3年生のメンバー全員でダンスの発表を行いました。ダンスは今話題の「パプリカ」です。みんなで集まって放課後や昼休みの時間に練習したり、家に帰ってYOUTUBEで自主練したりと、それぞれが発表に向けて一生懸命取り組んでくれていました。当日は午後の部のトップバッターということで緊張もしましたが、みんな笑顔で、練習の成果を十分に発揮してくれていました。



舞台発表の時のあすなる会部長のアピールを紹介します。

こんにちは。あすなる会です。

あすなる会は、1986年に結成されました。はじめは「伊藤ちゃんのことを考える会」という名前でしたが、いろんな方たちとの出会いの中で、「伊藤ちゃんだけが頑張らないといけないのはおかしい、障がいをもつ人の抱えている問題は周りの人たちが考えないといけない問題だ」ということを知ったそうです。そして、共に考え、闘っていけるなかまをつくっていこう！ということで「あすなる会」に名前を変えて活動を始めたそうです。

また、そんな中で、あすなる会を卒業した後も、なかまといっしょに集まれる場所、そして生きがいを持って働ける場所を作ろう！と「あすなるの家共働作業所」が作られました。

その作業所の方たちと今でも交流を行っています。今年は「わ」つなぎフェスティバルを開催したり、夏休みには「ピザづくりとかき氷づくり」をいっしょにしました。また、作業所のお菓子販売のお手伝いをさせてもらったり、内職の体験をさせてもらったりしています。12月には大正小学校で「餅つき大会」も開催されるので、参加する予定です。興味ある人はぜひ参加してください。

今日はそんなあすなる会のメンバーでNHKで有名になった米津玄師さんの「パプリカ」という曲を踊ります。この曲は未来に向かって頑張っている全ての人の夢を応援する歌として作られました。

この曲を知っている方は、ぜひ一緒に歌って踊っていただけたらと思います。そしてみんなでハッピーになりましょう！よろしくお願いします。